



Life is Tech! Leaders for Me

中高生の居場所を作る。

私の“居場所”。

小4の時から決めていたはずの物理部。そんな物理部をサボり始めた中2の夏に参加したのが Life is Tech! の夏キャンプでした。人見知りで参加を決意するまで半年かかりましたが、「また参加したい」と思えたのは、通いの4日間という短い時間で、仲間と仲良くなり、その場にいることが“楽しい”と思えたからでした。

ちょうどその時、それをきっかけに物理部の運営に関わり始め、保護者に毎回写真を添えてMLを流し、多すぎたミーティングの回数を厳選しスライドや音楽を用いるようにしました。文化祭ではテーマを決め、パーカーを作り、パンフレットを作る。統一したデザインをし、まずは上級生が本気になる。そうしているうちに、物理部自体が一つになり、部員たちみんなが楽しめる空間が出来上がり始めました。物理部という堅苦しい名前で、不登校の子が学校に復帰できる様な場になり、他の生徒から「なんか楽しそう」と憧れを持ってもらえるような、一緒にいるだけで楽しい空間になりました。そんな空間を、初めて体験させてもらった場所が LiT でした。

- ・テーマは「For the color. ここにはあなたの色がある」
- ・約50の生徒企画の中で「総合企画最優秀賞」を受賞
- ・例年10名程の部員が学校最大部員数の部活となる
- LiT キャンプを経験したことで、新しい物理部のあり方を僕なりに作り上げることができたと思う。



“メンター”になりたい。

中高生という多感な時期、家やクラス、部活でも居場所を感じられなくなることも多いはず。同じ環境・同じ仲間たちで活動するうちに、その空間での自分のあり方、キャラが決まり、居場所を感じられなくなる人が生まれることは仕方のないことなのかもしれません。

そこで、新しい場所に身を置くことで、少し素直な自分になれる機会を増やす。そして、新しい自分を少しでも“楽しい”と感じることで、居場所を感じることができると私は強く考えます。中高生が新しい自分でいることのできる空間を、Life is Tech! に作ることで、彼らの居場所を作りたいと思うのです。

先生ではなく、親でも親戚でもなく、一日中一緒にいる同級生でもない存在。年齢は近いけれど、あくまで他人である“メンター”として、中高生に接していきたい。



『話を聞いてくれるおばちゃん』として

開発に興味を置き、その子の生活の一部になる。
定期的に会い“他人だから話せる、相談にならない様な小さな思い”を聞く。



『初対面なのに共通点が多く話したくなるおじちゃん』として

短期間でそこに新しい居場所を作り上げる。
ほんの少しだけど社会の先輩として、共に歩む。

